

Press Information

デュアル、クワッド、500ps コンパレータが 30ps の伝搬遅延のばらつきを達成

MAX9600/MAX9601/MAX9602 は、わずか 500ps の伝搬遅延と最大 4Gbps のエッジトラッキング周波数を特長とする超高速コンパレータです。これらのデュアル及びクワッドコンパレータはチャンネル間のスキューを低減し(10ps)、伝搬遅延のばらつきを低く抑える(30ps)ように設計されています。これらの特長により、高速 ATE、スコープ/ロジックアナライザのフロントエンド、及び信号回復付高速ラインレシーバなど、ナローパルスの高忠実度トラッキングやタイミングのばらつきが重要となるアプリケーションに最適です。

出力はコンプリメンタリデジタル信号で、ECL 又は PECL システムとコンパチブルで、50 Ω 終端の伝送回線を直接駆動するのに十分な電流を供給します。差動入力段は、同相入力範囲で($V_{EE} + 3V$) ~ ($V_{CC} - 2V$)の広い範囲の信号を受け付けます。

MAX9600 及び MAX9601 はラッチ・イネーブルとヒステリシス制御を内蔵したデュアルチャンネル ECL 及び PECL 出力コンパレータです。ラッチ・イネーブル制御はトラッキング、トラックホールド、又はサンプルホールドの動作モードを可能にします。+5mV ~ +30mV のヒステリシス制御は外付け抵抗をグランド間に接続して設定し、スピードの遅い入力による発振を防ぎます。MAX9602 は基板制約の大きい高密度パッケージングに最適なクワッドチャンネル PECL 出力コンパレータです。

MAX9600/MAX9601/MAX9602 は -40 °C ~ +85 °C での動作が保証されています。デュアルの MAX9600/MAX9601 は 20 ピン TSSOP パッケージで提供されます。クワッドの MAX9602 は 24 ピン TSSOP パッケージで提供されます。